エコアクション21

2020年度版 （令和2年度） 環境活動レポート

実施年月日　2020年6月～2021年5月

地球生態系と共に持続性のある環境をめざそう。

作成年月日　　2021年7月23日

KDK　児玉電機工業株式会社

目　次

項　　目	ページ
・ 目次	2
・ 環境方針	3
・ 会社概要	4
・ 環境活動実施体制組織図	5
・ 環境目標	6
・ 主な環境活動計画の内容	7
・ 活動の取組結果の評価	8
・ 活動の取組結果の内容	9
・ 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画	10
・ 翌年度の環境目標	11
・ 環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価・違反・訴訟等の有無	12
・ 環境上の緊急事態への準備及び対応	13
・ 代表者による評価と見直し	14

環 境 方 針

1. 基本理念

現在の大量生産・大量消費・大量廃棄等が自然破壊に多大な影響を及ぼしている。
児玉電機工業株式会社社員一同は、地球全体及び全人類への影響が計り知れない環境破壊を少しでも減少させるために全力をあげて消費・廃棄を減少させ、身近な所からの環境保全に取組んでいく。

また、環境問題に関わる電気設備工事を積極的に行っていくことで地域の環境対策を常に考えて行動・改善していく企業を目指す。

2. 行動指針

1. 地球環境破壊防止に向け、CO2排出削減に努める。
   ① エコドライブを心がけ、CO2の削減に努める。
   ② 事務所、工事現場において消費する電力や資材等の削減に努める。

2. 廃棄物の分別の徹底とリサイクルの推進により、排出量の削減に努める。
   廃棄物削減のため、社内・現場でのリデュース・リユースに努める。

3. 水資源の節約に努める。

4. 建設工事でのエコマテリアル電線等の使用施工を推進する。

5. 自社の取組である地域・社内のエコ活動に社員全員参加を目指し、推進していく。
   自社の取組である省エネ提案を積極的に行い、地域の環境対策に推進していく。

6. 環境関連法令等を遵守する。

更新日　2019年12月20日
制定日　2007年9月1日

児玉電機工業株式会社
代表取締社長　　児玉 俊明

会　社　概　要

1. **事業者名**　　児玉電機工業株式会社

2. **代表者氏名**　　児玉　俊明

3. **所在地**　　静岡県静岡市駿河区中島138-3

4. **事業活動**　　建設業（電気工事）

5. **従業員数**　　13人

6. **環境管理責任者**　　児玉　俊太郎
   連絡担当係　　兒玉　あかね

7. **連絡先**　　TEL：054-282-2860（代表）　　FAX：054-282-2861
   （E-mail：kodama-jimu@tokai.or.jp）

8. **建設業許可**
   建設業
   静岡県知事許可（特-27）1397号
   許可業種：電気工事業
   許可年月日：2020年10月15日.　　有効期限：2025年10月15日.

9. **事業の規模**
   創業：　昭和26年10月1日　　設立：　昭和36年6月12日

10. **活動規模**

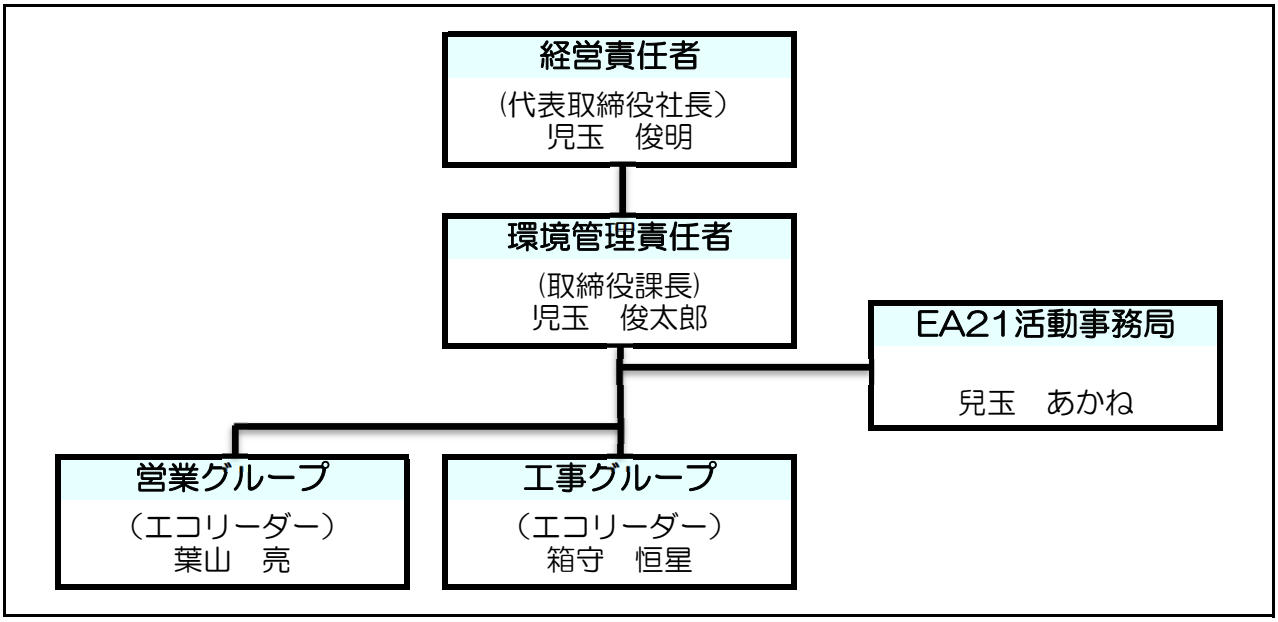
活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度
売上	百万円	155	210	240
事務所床面積	㎡	400	400	400
倉庫床面積	㎡	100	100	100
資機材置場	㎡	50	50	50

11. **事業年度**
    6月1日～翌年5月31日

12. **レポートの運用期間及び発行日**
    2020年6月1日～2021年5月31日
    環境経営レポート発行日 2021年7月23日.（2022年1月7日改訂）

13. **認証・登録の対象範囲**
    活動：　建設業（電気工事）
    対象組織：　本社
    エコアクション21認証・登録番号：　0002484

環 境 活 動 実 施 体 制 組 織 図



≪環境管理組織における機能≫

環境責任者

① 環境方針を定める
② 環境管理責任者を指名
③ 資源(人材・資金・技術)の用意
④ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
⑤ 活動の評価・見直し

環境管理責任者

① 環境経営目標及び計画の作成
② 環境経営活動の推進
③ 環境上の緊急事態への準備及び対応
④ システムの実績を代表者に報告

EA21活動事務局

① 全体計画の立案・文書の作成、管理
② システム運用上の事務管理
③ 環境管理責任者補佐
④ 環境関連法規等の確認
⑤ 各部門のデータのまとめ
⑥ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施

各部門

① 環境経営計画の実施
② 部門データの集計
③ 問題点の把握と是正の実施
④ 朝礼・月末会での報告と共有

環　境　目　標

1.運用期間(2020年6月～2021年5月)及び環境目標

項　目		単位	基準	半期目標		通年目標	
			2017年6月 ~2018年5月	2020年6月～2020年11月		2020年6月～2021年5月	
			基準値	目標削減値	目標値	目標削減値	目標値
二酸化炭素	電力	kwh	18085.0	-3%	8771.2	-3%	17542.5
	ガソリン	ℓ	12351.0	-3%	5990.2	-3%	11980.5
	軽油	ℓ	279.8	-3%	135.7	-3%	271.4
	石油ガス	㎥	20.4	-3%	9.9	-3%	19.8
	合計	KgCO2	38881.0	-3%	18857.3	-3%	37714.6
産廃	一般廃棄物	Kg	496.0	-3%	240.6	-3%	481.1
	産業廃棄物(最終)	Kg	1358.0	-3%	658.6	-3%	1317.3
	合計	Kg	1854.0	-3%	899.2	-3%	1798.4
水道使用量		㎥	176.0	-3%	85.4	-3%	170.7
エコマテリアル購入 (比率)		%	5.7% (注)	通年で+0.3%		+0.3%	6.0%
自社の取組	社員全員の地域・社内のエコ活動への参加率	%	13人 全員参加	通年で100%を目標		100%の参加	13人
	電気工事における積極的な省エネ提案	件	103件 (注)	通年で+3%		+3%	104件

2.中期の環境目標

項　目		単位	基準	目　標　年　度			
			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
			2017年6月 ~2018年5月	2018年6月 ~2019年5月	2019年6月 ~2020年5月	2020年6月 ~2021年5月	2021年6年 ~2022年5月
CO2排出量		KgCO2	38881.0	-1%	-2%	-3%	-4%
廃棄物(最終)排出量		Kg	1854.0	-1%	-2%	-3%	-4%
水道使用量		㎥	176.0	-1%	-2%	-3%	-4%
エコマテリアル購入		%	5.7% (注)	+0.1%	+0.2%	+0.3%	+0.4%
自社の取組	社員全員の地域・社内のエコ活動への参加率	%	13人 (社員全員)	通年で100%を目標	通年で100%を目標	通年で100%を目標	通年で100%を目標
	電気工事における積極的な省エネ提案	件	103件 (注)	+1%	+2%	+3%	+4%

※　電力二酸化炭素排出係数は中部電力CO2排出原単位0.485を使用
https://www.chuden.co.jp/kankyo/publication/pub_data/pubd_co2.html
※　建設混合廃棄物の再資源化率は0.97%を使用
廃プラスチックの再資源化率は0.807%を使用(株式会社三和建商リサイクルセンター)
※　水銀灯の再資源化率は0.82%を使用(静和エンバイロメント株式会社)
※　エコマテルアルの基準は電線における一般・エコ電線の割合とする
※　省エネ提案件数は、新築工事以外の物件で、既存設備よりも省エネルギー機器を採用した工事を対象とする
(注)　エコマテリアル・省エネ提案は2017年度の実績値が無い為、2019年度の数値を基準とする

主な環境活動計画の内容

運用期間(2020年6月～2021年5月)

目標	区分	項目	責任者	活動内容	スケジュール 6・7・8月	9・10・11月	12・1・2月	3・4・5月
CO2削減	電気	照明	寺尾	①消灯	→	→	→	→
				②人感ｾﾝｻ	●	●	●	●
				③LED設備の点検	●	●	●	●
		空調	寺尾	①空調機の設定温度確認	→		→	
				②ﾀｲﾏｰの利用	→		→	
				③休暇前のフィルター掃除	●		●	●
		その他	兒玉あ	①待機電力	●	●	●	●
				②冷蔵庫、コンプレッサーの定期点検	→	→	→	→
	ガソリン軽油	社有車	箱守	①エコドライブ	→	→	→	→
				②社内エアコン	→		→	
				③相乗り	→	→	→	→
				④タイヤ空気圧(3カ月に1回)	●	●	●	●
				⑤経路の確認	→	→	→	→
		重機	箱守	①アイドリングSTOP、省エネ	→	→	→	→
				②計画的な什器の使用	→	→	→	→
	石油ガス		寺尾	①電気ポット、ｈｏｔウォーターサーバーの使用	→	→	→	→
				②冬場の不必要な使用確認			→	
廃棄物	一般ゴミ	事務所	兒玉あ	①3Rの実践	→	→	→	→
				②コピー用紙の両面利用	→	→	→	→
				③分別とリサイクル	→	→	→	→
	建設廃棄物	混廃	箱守	①徹底的な分別	→	→	→	→
				②コンテナの定期的な点検	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●
		廃プラ	箱守	①リデュースの徹底	→	→	→	→
				②トンパックの2段階処理、点検	●	●	●	●
		その他	葉山	金属類の徹底的なリサイクル	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●
水	上水		兒玉あ	①洗い物、掃除時の節水	→	→	→	→
				②水漏れ点検	●	●	●	●
グリーン購入	建設資材		葉山	①エコマテリアル(電線)の管理	→	→	→	→
				②雑材料等のグリーン購入	→	→	→	→
自社の取組	地域社内エコ活動		寺尾(湧川)	①活動計画、組合への参加申し込み	→	→	→	→
				②社員全員の地域エコ活動への参加	→	→	→	→
				③社内設備の点検・利用量の確認	●	●	●	●
				④社内設備の省エネ化	●		●	●
	省エネ提案		葉山	①お客様への積極的な省エネ提案	→	→	→	→
				②エコマテリアル使用の提案	→	→	→	→
				③季節商品の販売促進	→		→	

活 動 の 取 組 結 果 の 評 価

1.運用期間(2020年6月～2021年5月)の環境目標と実績

項　目		単位	基準	半期目標				通年目標			
			2017年6月~2018年5月	2020年6月～2020年11月				2020年6月～2021年5月			
			基準値	目標削減値	目標値	実績値	評価	目標削減値	目標値	実績値	評価
二酸化炭素	電力	kwh	18085.0	-3%	8771.2	7378.0	○	-3%	17542.5	17550.0	△
	ガソリン	ℓ	12351.0	-3%	5990.2	5683.9	○	-3%	11980.5	11775.0	○
	軽油	ℓ	279.8	-3%	135.7	46.4	○	-3%	271.4	165.0	○
	石油ガス	㎥	20.4	-3%	9.9	8.2	○	-3%	19.8	23.9	△
	合計	KgCO2	38881.0	-3%	18857.3	16901.7	○	-3%	37714.6	36305.3	○
産廃	一般廃棄物	Kg	496.0	-3%	240.6	161.7	○	-3%	481.1	318.2	○
	産業廃棄物(最終)	Kg	1358.0	-3%	658.6	385.7	○	-3%	1317.3	722.1	○
	合計	Kg	1854.0	-3%	899.2	547.4	○	-3%	1798.4	1040.3	○
水道使用量		㎥	176.0	-3%	85.4	107	△	-3%	170.7	211.5	△
エコマテリアル購入（比率）		%	5.7%(注)	通年で+0.3%				+0.3%	6.0%	2.7%	△
自社の取組	社員全員の地域・社内のエコ活動への参加率	%	13人全員参加	通年で100%を目標とする		コロナで中止		100%参加	13人	コロナで中止	
	電気工事における積極的な省エネ提案	件	103件(注)	通年で+3%				+3%	104件	129件	○

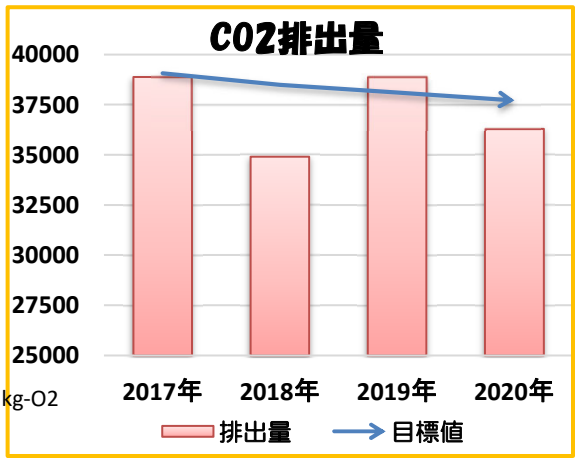
2.評価と対策

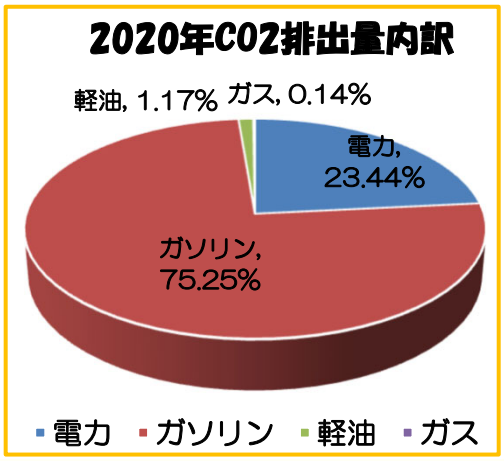
CO2（電気）	原因	目標に対しほぼ100%の結果となった。前期は目標値を下回っていたが、冬場のコロナ対策でサーキューレーター+窓開け+空気清浄機+エアコンで電気使用が増化した。
	是正	冬場の暖房に関して、換気や室温維持を心掛けつつ、短時間外出時のつけっぱなし等をやめる。
CO2（ガソリン・軽油）	原因	ドライブレコーダーの導入等により、目標を達成することができた。軽油については、高所作業車使用現場が増えたため。
	是正	引続き相乗り推奨、運転の監視。
水道使用量	原因	コロナ対策の手洗い、工具の除菌等徹底で全体で目標を上回った。
	是正	引き続きコロナ対策をしつつ、節水に努める。
エコマテリアル購入（電線）	原因	2019年度に比べ、本年は下請店舗工事の比率が大きく前年比を下回った。
	是正	エコマテリアルを使用した公共工事を積極的に受注できるよう努力する。
電気工事における積極的な省エネ提案	原因	
	是正	2019年度に比べ1.2倍近くのECOリニューアル工事を受注した、翌年以降も積極的に提案活動をしていきたい。

(注) エコマテリアル・省エネ提案は2017年度の実績値が無い為、2019年度の数値を基準とする

活 動 の取 組 結 果 の 内 容

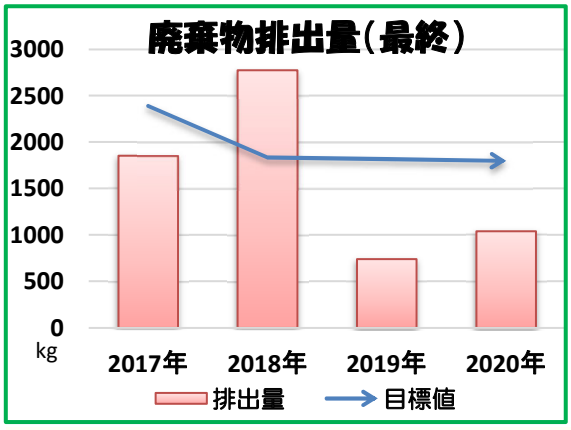
運用期間(2020年6月～2021年5月)

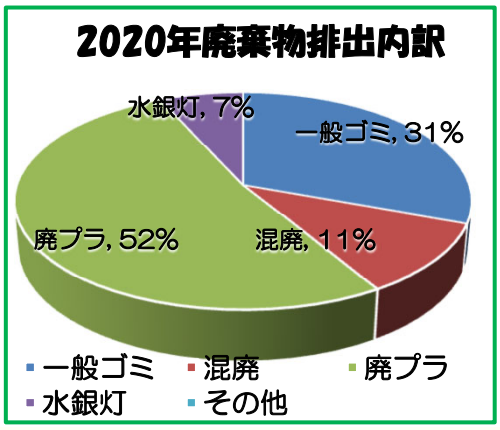




✤CO2排出量と内訳

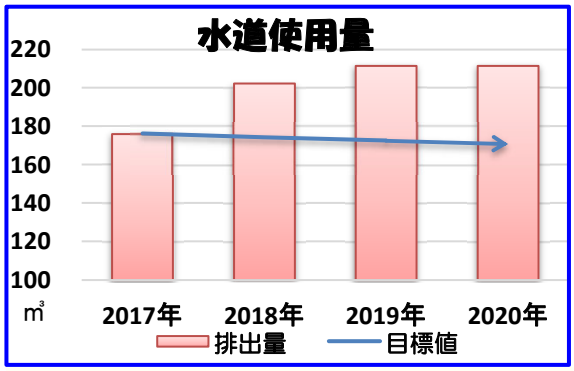
2020年度の排出内訳では、ガソリンが全体の75%を占めている。エコドライブ等を意識し、ガソリン使用料を削減できたことが、CO2排出量目標を達成した要因と考えられる。また2番目に内訳を占めている電力使用量はやや増加傾向にあり、換気や感染拡大防止の徹底の結果と思われる。

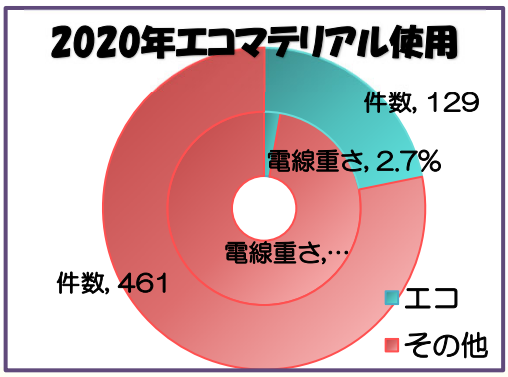




✤廃棄物排出量と内訳

2020年度の排出量内訳はリサイクル割合の低い廃プラスチックが約52%と高く、次点で一般ごみの排出となっている。廃プラは分別・解体分解作業が多く必要で、専用スペースを設けると共にトンパックスタンドを設置することで分別を行った。産業廃棄物排出量は工事種別に大きく左右されてしまうので、分別をしっかり行う事で、最終処分量を削減できるよう努めたい。





✤水道使用量とエコマテリアル・提案活動

2020年度の水道使用量はコロナウイルス流行に伴い、積極的な手洗い・うがい・清掃活動を通年推奨し、特に節水については活動していなかった。エコマテリアル電線の使用については、2019年度は大規模な公共改修工事があったため、前年比で大きく下がってしまったが例年並である、一部目標の見直しを検討。提案件数については、金額は差がないが件数を増やすことができた。次年度も積極的に行っていきたい。

環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

運用期間(2020年6月～2021年5月)

目標	区分	項目	活動内容	評価		次年度の取組
				評価	内容	
CO2削減	電気	照明	① 消灯	○	実施された	継続実施
			② 人感ｾﾝｻ	△	新設なし	倉庫へ新設の検討
			③ LED設備の点検	○	実施された	継続実施
		空調	① 空調機の設定温度確認	△	一部実施された	継続実施
			② ﾀｲﾏｰの利用	△	社長室のみ	全室利用の検討
			③ 休暇前のフィルター掃除	○	実施された	継続実施
		その他	① 待機電力	○	給湯室の不要な消費有	継続実施
			② 冷蔵庫、コンプレッサーの定期点検	○	実施された	継続実施
	ガソリン軽油	社有車	① エコドライブ	○	実施された	継続実施
			② 車内エアコン	－	コロナ対策の為、換気・エアコン利用推奨中	
			③ 相乗り	○	実施された	継続実施
			④ タイヤ空気圧(3カ月に1回)	○	池谷自動車にて実施	継続実施
			⑤ 運転経路の確認	○	実施された	スマホで事前取組
		重機	① アイドリングSTOP、省エネ	○	実施された	継続実施
			② 計画的な什器の使用	△	使用機械が少なかった	継続実施
	石油ガス		① 電気ポット、温水サーバーの使用	○	実施された	継続実施
			② 冬場の不必要な使用確認	△	日常的な利用があった	継続努力
廃棄物	一般ゴミ	事務所	① 3Rの実践	○	実施された	継続実施
			② コピー用紙の両面利用	○	A3・A4中心	積極的に推進
			③ 分別とリサイクル	○	実施された	継続実施
	建設廃棄物	混廃	① 徹底的な分別	○	定着しつつある	担当と強化
			② コンテナの定期的な点検	△	長期工事中に疎か	事務員含めて取組
		廃プラ	① リデュースの徹底	△	見直しが必要	発注担当が積極的に
			② トンパックの2段階処理、点検	○	実施された	ﾌﾚｺﾝｽﾀﾝﾄﾞ検討
		その他	① 金属類の徹底的なリサイクル	○	実施された	月1での処理
水	上水		① 洗い物、掃除時の節水	○	実施された	継続実施
			② 水漏れ点検	△	実施されない月あり	継続実施
グリーン購入	建設資材		① エコマテリアル(電線)の管理	○	各現場で実施された	継続実施
			② 雑材料等のグリーン購入	△	一部実施された	全員共有はしない
自社の取組	地域社内エコ活動		① 活動計画、組合への参加申し込み	－	コロナ対策で中止	状況に応じて
			② 社員全員の地域エコ活動への参加	－	コロナ対策で中止	状況に応じて
			③ 社内設備の点検・利用量の確認	○	実施された	継続実施
			④ 社内設備の省エネ化	○	実施された	継続実施
	省エネ提案		① お客様への積極的な省エネ提案	○	実施された	継続実施
			② エコマテリアル使用の提案	△	一部実施された	全員で実施
			③ 季節商品の販売促進	○	空調・衛生を中心	継続実施

＜備考＞

評価判定：○（よくできた）　△（まぁまぁできた）　×（できなかった）　－（実施が見送られた）

翌　年　度　の　環　境　目　標

1.運用期間(2021年6月～2022年5月)及び環境目標

項　目		単位	基　準	半期目標		通年目標	
			2017年6月 ~2018年5月	2021年6月～2021年11月		2021年6月～2022年5月	
			基準値	目標削減値	目標値	目標削減値	目標値
二酸化炭素	電力	kwh	18085.0	−4%	8680.8	−4%	17361.6
	ガソリン	ℓ	12351.0	−4%	5928.5	−4%	11857.0
	軽油	ℓ	279.8	−4%	134.3	−4%	268.6
	石油ガス	㎥	20.4	−4%	9.8	−4%	19.6
	合計	KgCO2	38881.0	−4%	18662.9	−4%	37325.8
産廃	一般廃棄物	Kg	496.0	−4%	238.1	−4%	476.2
	産業廃棄物(最終)	Kg	1358.0	−4%	651.8	−4%	1303.7
	合計	Kg	1854.0	−4%	889.9	−4%	1779.8
水道使用量		㎥	176.0	−4%	84.5	−4%	169.0
エコマテリアル購入 (比率)		%	5.7% (注)	通年で+0.4%		+0.4%	5.8%
自社の取組	社員全員の地域・社内のエコ活動への参加率	%	13人 全員参加	通年で100%を目標		100%の参加	13人
	電気工事における積極的な省エネ提案	件	103件 (注)	通年で+4%		+4%	104件

2.中期の環境目標

項　目		単位	基　準	目　標　年　度			
			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
			2017年6月 ~2018年5月	2018年6月 ~2019年5月	2019年6月 ~2020年5月	2020年6月 ~2021年5月	2021年6年 ~2022年5月
CO2排出量		KgCO2	38881.0	−1%	−2%	−3%	−4%
廃棄物(最終)排出量		Kg	1854.0	−1%	−2%	−3%	−4%
水道使用量		㎥	176.0	−1%	−2%	−3%	−4%
エコマテリアル購入		%	5.7% (注)	+0.1%	+0.2%	+0.3%	+0.4%
自社の取組	社員全員の地域・社内のエコ活動への参加率	%	13人 (社員全員)	通年で100%を目標	通年で100%を目標	通年で100%を目標	通年で100%を目標
	電気工事における積極的な省エネ提案	件	103件 (注)	+1%	+2%	+3%	+4%

※ 電力二酸化炭素排出係数は中部電力CO2排出原単位0.485を使用
https://www.chuden.co.jp/kankyo/publication/pub_data/pubd_co2.html
※ 建設混合廃棄物の再資源化率は0.97%を使用
廃プラスチックの再資源化率は0.807%を使用(株式会社三和建商リサイクルセンター)
※ 水銀灯の再資源化率は0.82%を使用(静和エンバイロメント株式会社)
※ エコマテルアルの基準は電線における一般・エコ電線の割合とする
※ 省エネ提案件数は、新築工事以外の物件で、既存設備よりも省エネルギー機器を採用した工事を対象とする
(注) エコマテリアル・省エネ提案は2017年度の実績値が無い為、2019年度の数値を基準とする

環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価・違反・訴訟等の有無

法規制の名称	条 項	摘 要 詳 細	備 考	評価
廃棄物処理法	第6条2-6項	一般廃棄物の収集運搬者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	第12条2項	産業廃棄物の訂正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	第12条5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	第12条3	マニフェストの交付、保管、管理	電子マニフェストにて管理	○
建設リサイクル法	第5条1項	建設業を営む者は、建築物等の設計及びこれに用いる建設資材の選択、建設工事の施工方法等を工夫することにより、建設資材廃棄物の発生を抑制するとともに、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めなければならない。		○
	第5条2項	建設業を営む者は、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用するよう努めなければならない。		○
騒音規制法	第14条	特定建設業の実施の届け出	ﾊﾞｯｸﾎｳ等(80ｋW以上)の使用	該当なし
	第15条	特定施設の届け出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(地域-時間帯)	○
振動規制法	第14条	特定建設業の実施の届け出	杭打機他の使用	該当なし
	第15条	特定施設の届け出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(地域-時間帯)	○
特定家庭用機器再商品化法	第6条	廃棄物を減らし資源の有効利用を促すため、廃棄される家電製品のリサイクルに努める		該当なし
自動車リサイクル法	第8条	車の所有者がリサイクル料金の支払い、自治体に登録された引取業者への廃車の引渡しに努める	リース契約は該当しない	該当なし
フロン排出抑制法	第16条	特定空調機器の定期点検の実施		該当なし
	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引き渡し義務	廃棄品の処理	該当なし
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する特定建設業の許可の申請		○
	第15条	特定建設業の許可の基準に適合		○
	第26条	主任技術者及び監理技術者の設置		○

確　認　日	2021年5月31日
確　認　者	環境管理責任者　　児玉　俊太郎

※ 違反、訴訟などの有無

1 上記関連法規制に関し、違反及び未登録等はありませんでした。

2 関係機関からの指摘及び、利害関係からの苦情・訴訟等は過去4年間ありませんでした。

環 境 上 の 緊 急 事 態 へ の 準 備 及 び 対 応

作成日　　2021年5月21日.
作成者　　兒玉　あかね

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めるため、社内外への連絡を円滑に行うこと、可能な範囲で事前に想定し対策を準備する。また、定期的に訓練を行い評価・見直しを行う。

✤　緊急対応想定（東海地震等の警戒警報発令）

想定される内容	原　因	想定場所	予　防　対　策
①人的災害	避難場所への逃げ遅れ	会社	①迅速な緊急連絡(一括)の通達
			②安全経路での避難場所への移動
		現場	①現場別緊急連絡網の確認
			②TBMの実施
②火災発生	自然発火、火元の未確認	会社	①灰皿の確認
			②ヒーター等電気製品の電源確認
		現場	①火元の確認、灰皿の火消
			②電動工具の過充電等の禁止
③資材・重機の倒壊	資材の未固定 重機の安全管理不足	会社	①長もの置場・脚立足場の強固な固定
			②重機利用時のの安定的な駐車・固定。
		現場	①長もの置場・脚立足場の強固な固定
			②重機の安定的な駐車・固定・確認。

✤　訓練の実地

訓練実地	2021年4月19日.（月）　朝礼後 実施→　　2021年4月30日.（金）　月末会にて是正
参加者	全社員　（一部社員は月末会より参加）、　司会：児玉俊太郎
訓練内容	想定される内容①～③の**会社**で起こった場合 ①緊急連絡確認テスト、避難経路の確認、避難経路への各自移動（時間観測） ②灰皿の確認、灯油の空ボトルの確認、電気ストーブ等の電源確認 ③長もの置場の固定強化確認、脚立足場の固定
見直し事項	①連絡で、返信のない場合の確認も行う。 ②灰皿の数を減らすことを検討。 ③長物の滞留在庫の処分検討。 現場で起こる想定では、新規現場の緊急連絡網の確認、現場社員への徹底した共有を行う。
評　価	上記の結果、異常は検出されなかった。

代 表 者 に よ る 評 価 と 見 直 し

作成日：2021年6月30日

1・見直し関連情報	項　目		確　認　：　（必要に応じて評価・コメント）	
	1	エコアクション21文書	☑	記録・文章として作成、確認しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	電力他4項目での目標未達を重く受け止めます。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☑	継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	記録・確認しました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	苦情台帳の確認・問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	未達項目を中心に責任者と問題・対策について検討し、指示を出しました。
	7	取引先・業界・関係行政機関・その他の外部動向	☑	継続して取り組みます。
	8	その他（　　）	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示

・全体評価として、2020年度は目標未達の項目があり、推移表をもとに対策を考え、2021年度は改善できるところを積極的に取り組んでいく。

・CO2削減項目の目標未達の中で、とりわけ比率の大きなガソリンの項目ではドライブレコーダーの導入を検討し6月全車に実施を行った。ここから改善点を担当責任者中心に探してもらいたい。

・廃棄物排出量は最終処分量の計算により減少したと聞いているが、廃棄物の種類により再生率が異なるとのこと。仕事柄、必ず出てしまうのもなので、皆で分別に取り組み排出量を減少させたい。

・2019年度に目標未達の項目に対し、多くの社内省エネ提案が上がったので積極的に実行していった。従業員・社有車の増加に伴い未達の項目も出てしまったが、2021年度より積極的にエコアクションの活動に参加してもらいたい。

・省エネ提案活動においては営業部が中心になりがちだが、現場工事部員や事務で気が付いた点も各営業担当に伝えてもらい、2021年度はより一層自社の取組に力をいれ、地域環境環境に貢献していく。

2021年6月30日

児玉電機工業株式会社
代表取締役　児玉俊明

見直し事項		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・(無)	
2	環境経営目標	有・(無)	
3	環境経営計画	(有)・無	未達事項の見直し、通年で行う環境計画スケジュールの要所ポイントを定め、強化を行う。
4	環境に関する組織	有・(無)	人数の変更はあるが、組織変更なし。
5	その他システム要素	(有)・無	月別の自己チェックシート内容報告は営業会議でなく月末定例会で全社員に報告へ変更。
6	外部への対応	有・(無)	
7	その他	有・(無)	